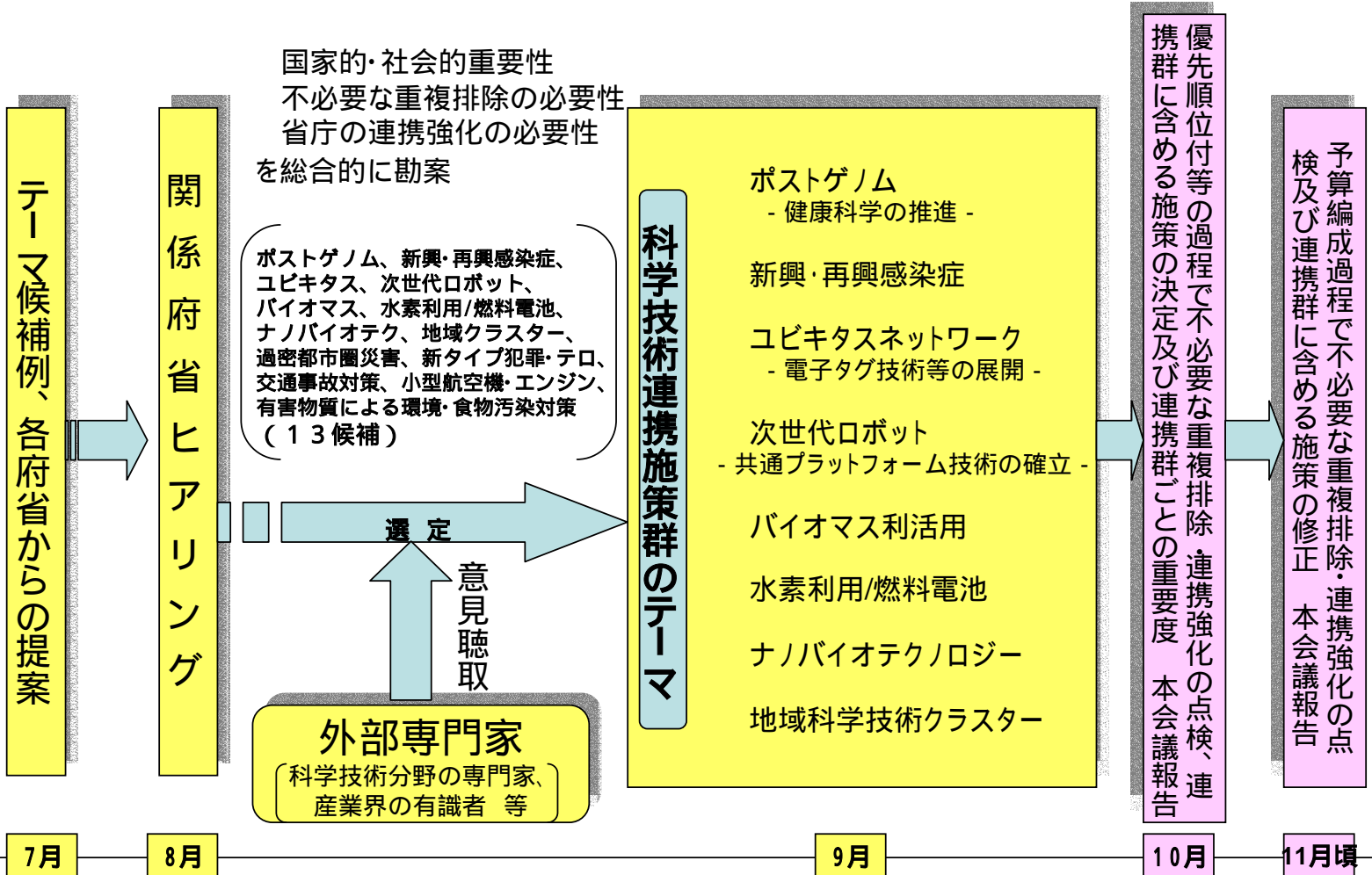


# 科学技術連携施策群のテーマについて(イメージ)

平成 1 6 年 9 月 9 日  
科学技術政策担当大臣  
総合科学技術会議有識者議員

# 科学技術連携施策群のテーマ選定過程



# ポストゲノム - 健康科学の推進 -

想定される関連府省  
文部科学省、厚生労働省、  
農林水産省、経済産業省

テイラーメイド  
医療

ゲノム創薬

予防医学

...

健康科学の推進  
様々な恩恵の早期実現

応用研究 【文】【厚】【経】

(創薬標的の検証、個別実証研究、臨床への橋渡し研究など)

研究成果の社会還元の実現を目指す  
**重点化・積極推進**

基礎研究 【文】【厚】【経】

(生体分子間相互作用、細胞シミュレーション、ファーマコゲノミクスなど)

幅広い可能性を着実に  
伸ばす  
**多様性の確保**

基盤 【文】【厚】【農】【経】

(遺伝子の配列や意味づけ情報[SNPs、タンパク質、糖鎖、RNA、  
ゲノムネットワーク]、遺伝資源、分子イメージング技術など)

ライフサイエンス全ての  
基盤となる知見と技術の  
**拡大、充実**

## 縦横の連携による施策の推進

縦の連携:

基盤・基礎研究から応用研究へ向かう連携強化

横の連携:

同フェーズ研究間の重複排除・連携強化

# 新興・再興感染症

想定される関連府省  
文部科学省、厚生労働省、  
農林水産省、環境省

SARS  
鳥インフルエンザ  
ウエストナイル熱  
未知の感染症  
炭疽菌等のバイオテロリズム

日本への病原体の侵入を防ぐため、発生国等、海外との協力関係が重要  
**関係省庁間の連携が必要**  
【文】【厚】【農】

野生動物・昆虫における病原菌のサーベイランス体制が空白であり、その構築が急務  
【文】【農】【環】

**野生動物・昆虫**  
【文】【農】【環】

新興・再興感染症の大部分は人獣共通感染症

疾患対応型の**連携強化**が必要  
医学 - 獣医学 - 生態学の**省庁横断的連携の拠点形成**  
【文】【厚】【農】【環】

**人**  
【文】【厚】

**家畜**  
【文】【農】

**疾患横断的な基盤技術開発の強化**  
(予防) ワクチン等感染症免疫制御技術の開発  
(診断) 大量・迅速診断系の開発  
(治療) より効果的で安全性の高い治療薬の開発  
【文】【厚】【農】

新興・再興感染症に迅速に対応できる研究体制の構築  
国民の安心・安全を確保

多目的な**共同利用施設**としての高度安全実験施設の整備についての検討  
【文】【厚】【農】

感染症研究に対する人材の育成が急務  
【文】【厚】【農】

# ユビキタスネットワーク

- 電子タグ技術等の展開 -

想定される関連府省  
総務省、文部科学省、  
経済産業省、国土交通省

## ネットワーク化技術の研究開発

## 実証実験

### 電子タグの高度利活用技術に関する研究開発【総】

- 電子タグとネットワークの相互接続技術、タグ情報の交換技術等



流通の効率化

### 産業界における実証実験の推進【経】

- 医薬品、国際物流、産業機械、百貨店・アパレル、出版等

### 自律的移動支援プロジェクトの推進【国】

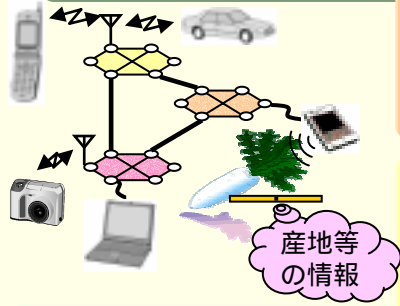
- 場所が話しかける新しいサービスの為のシステム構築

### ユビキタスネットワーク(何でもどこでもネットワーク)社会実現のための 基盤技術の研究開発【総】

- 100億個の端末を協調・制御する技術、ネットワーク制御・管理技術等

### ユビキタス センサーネット ワーク技術に関 する研究開発 【総】

- センサー制御  
技術、センサー  
ネットワーク  
制御・管理技術  
等



### 連携強化

### 安全なユビキタス社会を支える基盤技術の研究開発 プロジェクト【文】

- 高安全性組込みソフト、安全に情報配信できるICチップ等

### 低価格電子タグの開発【経】

- サプライチェーン(供給の連鎖)全体の  
合理化の為の低コスト製造技術

### 要素技術(電子タグ製造、組込みソフト等)の研究開発

利活用技術

基盤技術

電子タグ

産業構造の改革、国際標準化等を通じた  
新たな産業や市場の創出

「元氣安心・感動便利」な社会の実現に向けた  
ユビキタスネットワーク社会基盤の構築

# 次世代ロボット

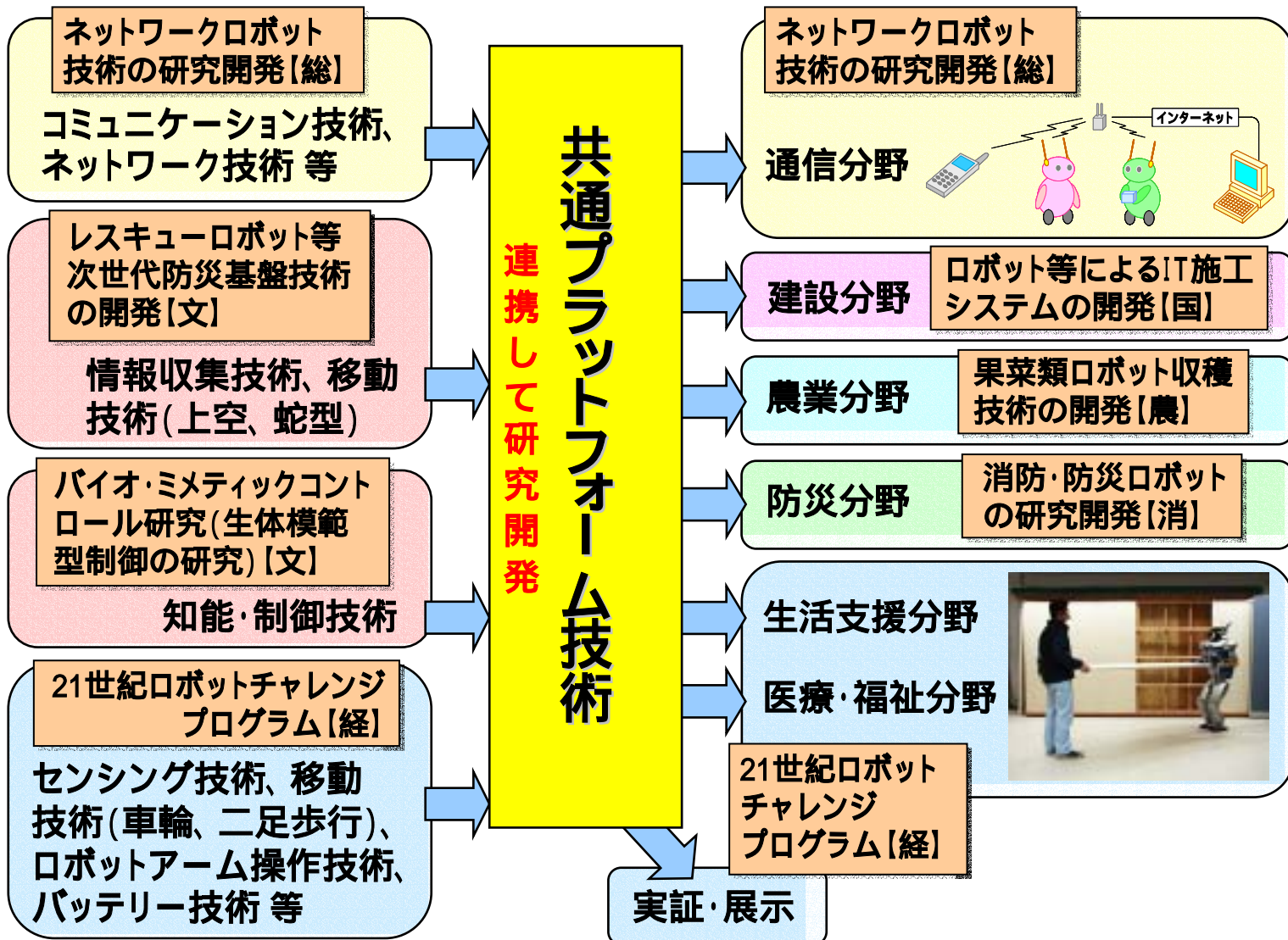
## - 共通プラットフォーム技術の確立 -

想定される関連府省：  
総務省、消防庁、  
文部科学省、農林水産省、  
経済産業省、国土交通省

### 基礎技術

### 基盤技術

### 応用・実利用



各分野における研究開発を加速させ、  
次世代ロボット技術に関する国際優位性を確保